

プロ野球スプリングキャンプ見学ツアー —本学アスレチックトレーナー部の課外活動の取り組み—

棚原 勝平*

明治国際医療大学保健医療学部柔道整復学科

プロ野球スプリングキャンプ見学ツアー

2020年2月10日(月)から14日(金)までの4泊5日の日程で『プロ野球キャンプ見学ツアー2020』を行いました。本ツアーは、2015年度に創部した本学アスレチックトレーナー部の課外活動(自主参加)の一環として始まった取り組みで、今回で5回目となります。

3月までアスレチックトレーナー部の顧問だった松元隆司先生(現・鍼灸学部非常勤講師)がオリックス・バファローズの元トレーナーで、プロ野球関係者に多くの知己を得ており、選手やトレーナーから直接、貴重な話を聞く場として2016年の春季キャンプ訪問からスタートしました。

ツアーは、多くの球団がキャンプを張る宮崎**で実施。学生が実際にプロ野球の練習やケアの現場を見学、体験することで、普段見ることのできない部分に触れ、自分たちが目指すトレーナーの位置づけ、活動とはどういうものかを肌で実感することはもちろんのこと、現在の立ち位置を見つめ直すきっかけとすることなどを目的としています。

今回は、松元先生、棚原勝平(柔道整復学科助教)、石川悠乃(鍼灸学科1年)、勝部涼香(柔道整復学科1年)の引率2人、学生2人の4人が参加。オリックス・バファローズなど4球団の練習やコンディショニングブースを見学し、関係者からヒヤリングを行いました。参加学生は将来、プロスポーツ、特に野球界でトレーナーになることを目指しており、積極的に関係者と交流を深めていました。オリックス・バファローズではコンディショニング部門の責任者やトレーナーの先生方の案内で練習場やケアブースの隅々まで見学させていただきました。トレーナーの役割、活動内容などをじっくり見聞する

ことができました(写真1, 2)。

今回、はじめてこのツアーに参加した学生からは、「球団ごとにいろいろなトレーナーがいて、トレーナーとしての在り方や選手に対するアプローチの仕方が違っていました。改めていろいろな気付きがあり、自分が進むべき方向性や夢の実現に向けて学ぶことができました。自分が将来どんな風に選手と関わっていくべきなのか、どんな技術や知識を持つことで選手のためにケアができるのか考え直すことができました」、「トレーナーになることはゴールではなく、常に選手のためを追求し、勉強を続けることの大切を学びました。また、一口にトレーナーと言っても球団ごとに役割ややり方も異なり、分業制が進むなか、自分にできることは何かを常に考えて行動すること、最新機器が導入されており、手技の向上はもちろんそうした物療機器の知識、使い方ももしっかり学ぶ必要があることに気付きました」などの感想が聞かれました。



写真1 オリックス・バファローズにて(左から松元先生、筆者、本屋敷トレーナー、石川さん、勝部さん)

*連絡先：〒629-0392 京都府南丹市日吉町
明治国際医療大学保健医療学部柔道整復学科
E-mail: s_tanahara@meiji-u.ac.jp

**2020年度は、セ・リーグから、「広島東洋カープ」、「読売ジャイアンツ」、「ヤクルトスワローズ」が、パ・リーグから、「福岡ソフトバンクホークス」、「西武ライオンズ」、「オリックス・バファローズ」が訪れた。



写真2 オリックス・バファローズにて (中央 鎌田トレーナー)

本ツアーは、各種情報収集はもちろんのこと、トレーナー業界の最先端をいくプロの現場を体験でき、さらに野球選手や選手をケアする人たちの「生」の声を聴くことのできる貴重な機会であり、今後も継続し各所との関係、人脈づくりを行い、学生の成長、アスレチックトレーナー部の活動などに活かしていきたいと考えています。